

●新規採用職員からのメッセージ

※各職員の所属等、掲載内容については、令和元年度時点のものとなります。

令和元年度採用



松阪農林事務所 森林・林業室 森林保全1課 技師 長嶋 瑠美

入庁1年目

○三重県林業職員を選んだ理由は？

幼い頃から森林保全に関心があり、大学では森林病理学を専攻していました。日本の森林荒廃や林業衰退を学ぶうちに、出身県の森林・林業分野に関わりたいという気持ちがより強まり、林業職員を選びました。また、勤務地がほぼ県内に限られるため、ライフステージが変化しても働き続けやすいことも理由の一つです。

○現在の仕事は？

治山事業と呼ばれる、文字通り「山を治める」仕事をしています。豪雨や地震等で荒れてしまった山地や溪流に構造物を造り、森林の回復及び保全に取り組んでいます。私が現在担当している工事では、「谷止工」と呼ばれる、右上の写真のようなコンクリート構造物を造っています。

○実際に働きはじめてどうですか？

トレーナー制度があり、先輩職員が新規採用職員に対して一から指導・助言して下さるため、業務の相談がしやすいです。産休・育休から職場復帰される女性も多く、女性も働きやすい職場であると感じています。

○今後の抱負は？

現在担当している治山事業は大学の専攻分野とは全く異なる分野のため、その分戸惑うことも多いですが、面白さややりがいを日々感じています。指導して頂いたことや現場で学んだことを吸収し、自分の能力を向上していきたいと考えています。

○受験対策の秘訣は！

筆記試験対策は、県の試験は過去問がなかったので、代わりに国家一般職の林学試験の過去問を5~7年分程度繰り返し解いていました。面接対策は、関心のあるテーマについて調べる、興味のあるイベントや講演会に参加する、民間企業のインターンシップに行くなどしていました。

○受験を考えている人にメッセージ！

林業職の魅力は、治山事業等のハード事業から森林環境教育等のソフト事業といったように、様々な角度から森林・林業分野に関われる点であると思います。「森林・林業分野の仕事に興味があるものの、一つには絞れない」という方は、三重県林業職員を受験されてはいかがでしょうか。

●新規採用職員からのメッセージ

※各職員の所属等、掲載内容については、令和元年度時点のものとなります。



令和元年度採用

入庁1年目

伊賀農林事務所 森林・林業室 林業振興課 技師 藤井 樹

○三重県林業職員を選んだ理由は？

県が主催している「森つなぎプロジェクト」に参加し、県職員の方から林業職員について様々なお話を聞いたことから三重県林業職員に興味を持ちました。林業職員の方々の豊富な知識に憧れを持ち、自分も林業の知識を蓄え、三重県のために知識を使いたいと思いました。また、私は県外の出身ですが、大学の4年間で三重県の美しい自然を知り、その豊かで美しい自然を県民の方々により知っていただきたいという思いもあり、三重県林業職員を選びました。

○現在の仕事は？

主に鳥獣関係の仕事を担当しています。鳥獣の被害を減らすために具体的には以下の仕事を行っています。

- 狩猟免許発行
- 狩猟免許試験・狩猟免許更新講習の実施
- 狩猟者登録証の発行
- 鳥獣関係問い合わせ対応

県民の方々と直接かかわる仕事で個人情報やお金を扱う仕事も多く、気が抜けない仕事ですが、その分やりがいもあり楽しく仕事に取り組んでいます。

○実際に働きはじめてどうですか？

最初は慣れないことも多く、ミスばかりで不安になることもあったのですが、先輩職員の方々が優しくフォローしてくださるので、のびのびと仕事をさせていただいています。また、大学の頃には勉強できなかった分野の仕事も多いですが、研修や担当者会議の場を設けて頂いているので、学びながら仕事に取り組むことができます。

職場に関しては、休暇が取りやすく残業も少ない職場ですので、とても働きやすいと感じています。

○今後の抱負は？

現在は鳥獣関係の仕事を行っていますが、林業職員の仕事には様々な仕事があります。働き始めて知識不足を感じる事が多いので、多くの業務に携わり様々な分野の知識を身に着けることでどの仕事を担当することになっても丁寧な仕事を行うことができる職員になりたいです。

また、豊富な知識を身に着けることにより、県民の方々から頼りにされるような職員になれるように頑張ります。

○受験対策の秘訣は！

1次試験対策としては、林業に関する書籍を読みこむことで基礎的な知識を付け、過去問を繰り返し解きました。また、面接対策としては「みえ県民力ビジョン」や「三重の森林づくり実施状況報告書」、「三重の森林づくり基本計画」等で三重県の政策を学び、大学生時代の経験から三重県をよりよくするためには何ができるかということや県民の方々のために何ができるのかといったことを自分の言葉で説明できるように整理していました。

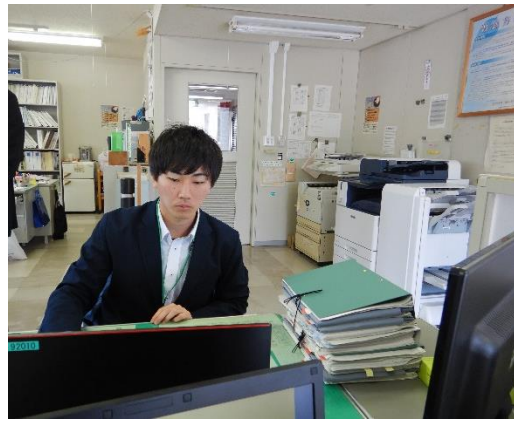
○受験を考えている人にメッセージ！

県職員の採用決定は一般企業よりも遅いため、周りが内定をもらい就職先が決まっていくことに焦ってしまうことがあると思います。しかし、三重県林業職員ほど林業の様々な分野に携わることができる仕事はないと思います。林業に幅広くかかわりたい方や常に新しいことに挑戦したい方は林業職員に向いていると思うので、ぜひ受験を考えてみてください。

皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

●新規採用職員からのメッセージ

※各職員の所属等、掲載内容については、令和元年度時点のものとなります。



熊野農林事務所 森林・林業室 森林保全課 技師 松岡 優介



入庁1年目

○三重県林業職員を選んだ理由は？

大学時代に森林・林業のことを学んでいたのでも、森林・林業に関わる仕事がしたいと思っていました。そんな中、大学内や本庁でおこなわれていた三重県林業職員の説明会に何度か行かせていただき、林業職員の仕事内容や三重県の林業の魅力に気付き、生まれ育った三重県のために働きたい、県の林業の活性化や災害に強い森林づくりに貢献し、県民のみなさんが住みやすい三重県にしたいと思い、三重県林業職員を選びました。

○現在の仕事は？

主に治山事業の仕事をしています。仕事内容は、治山施設の設計や発注をしたり、その現場の工事監督員をしています。工事が進む中で、当初の設計通りにはいかない現場が多いので、実際に現場を見に行き、業者の方と打ち合わせをして、その土地や環境に合った設計へと少しずつ修正をして、施設を作りあげていきます。1年目から主担当の治山ダムの現場をいくつか担当させていただき、設計した現場が少しずつできあがっていく様子にやりがいを感じています。

○実際に働きはじめてどうですか？

職場の雰囲気は想像していたより和やかで、とても仕事がしやすい環境だと思っています。大学時代の専攻とは違うことを仕事でやっているのでも、配属された当初は不安でしたが、分からないことは、職場の先輩や上司の方がしっかりサポートしてくれたり、業務内容に関しても、各事業毎に研修があったりして、仕事を確実に進められる体制が整えられています。なので、安心して仕事に取り組むことができます。

○今後の抱負は？

今は森林保全課で治山の仕事をしていますが、林道の担当をしたり、いずれは、林業振興課の仕事もしたいと考えています。特に今現在、治山の仕事では長年の経験則から分かることが多いと感じており、若いうちに様々な仕事を経験しておくことが、将来的に大きく成長する糧だと思っています、これから、自分の適性を見極め、多くのことを先輩・上司の方から吸収していきたいと思っています。

○受験対策の秘訣は！

私が実際におこなった1次試験の対策は、問題集をある程度絞って、繰り返し何度も問題を解き、基礎知識を定着させることです。1次試験では、時間配分と基礎問題を確実に得点することが重要になってきます。2次試験の論文試験は、県が力を入れている施策を把握したり、三重県をより良くしていく案が考えられていけばよいと思います。面接試験では、とにかく積極性や三重県職員になりたいという思いをアピールして、熱意を伝えることが大事です！！

○受験を考えている人にメッセージ！

三重県の林業職員は、仕事内容が多岐に渡っているため、仕事を通じて林業のことを知る機会がたくさんあります。そのため、多くの分野でスキル向上ができ、自分の好きな仕事・得意な仕事が見つかっていくと思います。林業職員は、現場に出たり、地元の人と関わる機会が多いので、自然が好き人や、人と関わるのが好きな人には向いている職場だと思います。少しでも受験するか迷ったらずい受検してみてください！！みなさんと一緒にお仕事できる日を楽しみにしています！！